

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 会長談話	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	3
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	3
3 機能別委員会の開催とその議題	4
4 分野別委員会の開催とその議題	5
5 課題別委員会の開催とその議題	13
6 若手アカデミーの開催とその議題	13
7 サイエンスカフェの開催	13
8 総合科学技術・イノベーション会議報告	13
9 慶弔	14
10 インパクト・レポート	14

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
4月26日(日) ～27日(月)	北極科学サミット週間 2015 (富山国際会議場)	大西会長
4月27日(月) ～5月2日(土)	G7 アウトリーチカンファレンス (ドイツ・ベルリン)	花木副会長
5月7日(木)	Gサイエンス学術会議共同声明の総理手交	大西会長、 花木副会長
5月10日(日) ～13日(水)	ICSU「都市環境の変化と健康」科学委員会 (フランス・パリ)	花木副会長
5月14日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
5月14日(木)	第8回基本計画専門調査会	大西会長
5月14日(木)	第12回アジア栄養学会議 (パシフィコ横浜)	井野瀬副会長
5月14日(木) ～18日(月)	第15回アジア学術会議年次会合 (カンボジア・シェムリアップ)	大西会長 花木副会長
5月21日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長

(注) 部会、委員会等を除く。

2 会長談話

会長談話「ネパール科学技術アカデミーへのお見舞い」

4月25日に発生した非常に強い地震がネパールに被害をもたらしたことを受けて、ネパール科学技術アカデミー・ポカレル会長に対し、被災者へのお見舞いと被災地の早期復旧・復興を祈念する旨のレターを発出しました。

8 May, 2015

Prof. Dr. Jibaraj Pokharel,
Vice-Chancellor
Nepal Academy of Science and Technology (NAST)

Dear Prof. Dr. Jibaraj Pokharel,

We are deeply saddened to know that thousands of people lost their lives and suffered by the big earthquake attacked the area near the city of Kathmandu.

On behalf of all members of Science Council of Japan, I would like to convey my sincere condolences and sympathies to the Nepalese people.

We are still worried that aftershocks caused additional damages to the buildings and infrastructure of the affected areas. We really hope that such situation will not bring any further harm.

I am sure all kinds of efforts should be urgently done to save the lives and cure the injured. This will be followed by the recovery process, which may be challenging and enduring. We truly pray and hope that the people of your country will soon overcome the hardships and regain the normal with utmost courage, solidarity and resilience. We, SCJ, would like to work with you and your academy to do what sciences can do in this situation to challenge the largescale natural disasters that are and will be threatening our safety and society.

With deepest sympathy,

Takashi Onishi
President
Science Council of Japan

CC: Professor Keisuke Hanaki, Vice-President in charge of International Activities of Science Council of Japan

会長談話「塚田裕三元会長に対する弔意」

日本学術会議第12期において昭和58年5月から昭和60年7月まで会長

を務められた塚田裕三先生が、去る5月14日に逝去されました。

今年で創立66年を迎える日本学術会議は、これまでに二度大きな制度改革を経ていますが、その最初のもので、会員の選出方法を従来の選挙制から学協会を基礎とする推薦制に改めることを主な内容とする、昭和58年の日本学術会議法改正でした。塚田先生は、この日本学術会議の在り方を大きく変える改正法案がまさに国会において審議され、その法案をめぐる内部でも激しい議論が戦わされていた第89回総会において、当時の久保会長が辞意を表明されたことを受け、急遽会長に選出されました。

日本学術会議の在り方をめぐって内外で様々な意見があり、喧々諤々の議論が行われる中、日本学術会議を一つの方向へ導いていくことが如何に難儀なことであったかは、想像に難くありません。塚田先生は、このような荒波の中にあつて、新たな制度の発足に向けた政府との折衝、内部の意見調整などに奔走され、日本学術会議が新制度の下で順調に新たな船出を迎えられるよう、その船頭役として大変な御尽力をされました。

日本学術会議は、先生の日本学術会議への多大な御貢献に深く感謝し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

平成27年5月15日

日本学術会議会長 大西 隆

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第三部拡大役員会 (第6回) (5月22日)

- ①大型計画マスタープランに関するアンケート案について
- ②第23期の活動案の検討
- ③その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) フューチャー・アースの推進に関する委員会 (第3回) (5月8日)

- ①Future Earth の国内外での進捗状況について
- ②分科会の進捗状況について
- ③総合科学技術イノベーション会議 (CSTI) での Future Earth 紹介 (5 月 14 日) について
- ④SRA2014 勉強会 (5 月 1 日) の報告
- ⑤Future Earth 国際委員会およびワークショップ (11 月) について
- ⑥その他

(2) 東日本大震災復興支援委員会 原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会 (第 4 回) (5 月 8 日)

- ①小委員会の報告
- ②参考人からの報告
 - 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター・本多 環氏
 - 福島県立医科大学こころの災害医学講座・前田 正治氏
- ③その他

(3) 東日本大震災復興支援委員会 汚染水問題対応検討分科会 (第 2 回) (5 月 11 日)

- ①東京電力福島第一原子力発電所の汚染水処理対策の現状 (内閣府原子力災害対策本部廃炉・汚染水対策チーム事務局企画官 豊口佳之氏)
- ②現地調査について ③汚染水処理に関わるシンポジウムの開催 ④その他

(4) 学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会 (第 1 回) (5 月 18 日)

- ①役員の選出 ②その他

(5) フューチャー・アースの推進に関する委員会 フューチャー・アースの国際的展開対応分科会 (第 2 回) (5 月 21 日)

- ①フューチャー・アース統治審議会、連携委員会、科学委員会合同会合に係る分科会委員の派遣について
- ②国際連合総会における非政府組織等のヒアリングに係る分科会委員の派遣について

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 国際委員会 Gサイエンス及びICSU等分科会 (第 2 回) (4 月 24 日)

- ①2015年Gサイエンス学術会議共同声明の総理への手交について ②その他

(2) 国際委員会 国際会議主催等検討分科会 (第5回) (4月30日)

①「第24回国際冷凍会議」の後援について

(3) 国際委員会 アジア学術会議分科会 (第5回) (4月30日)

①アジア学術会議分科会 (第3回) 議事要旨 (案) について

②アジア学術会議について

③第15回アジア学術会議年次会合 (カンボジア) について

④SCA関連団体について ⑤その他

(4) 国際委員会 Gサイエンス及びICSU等分科会 (第3回) (5月7日)

①2015年Gサイエンス学術会議共同声明の総理への手交について ②その他

(5) 科学者委員会 (第7回) (5月11日)

①「第三部夏季部会・中国四国地区会議共催の講演会」(案) について

(6) 科学と社会委員会 (第2回) (5月15日)

①政府、社会及び国民等との連携強化分科会について

②各分科会の審議状況について ③課題別委員会について ④その他

(7) 科学者委員会 (第8回) (5月21日)

①「北海道地区会議・公開学術講演会」(案) について

②協力学術研究団体指定の件

(8) 国際委員会 (第10回) (5月21日)

①Gサイエンス学術会議 (2016) 対応小分科会設置に伴う国際委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定

②国際業務に参画するための特任連携会員の推薦について

③STSフォーラム ASEAN-Japan Workshopに会員の派遣

④国際会議の後援申請について

(9) 科学者委員会 男女共同参画分科会 (第4回) (5月22日)

①内閣府からの審議依頼に対する回答への対応について ②その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 言語・文学委員会・哲学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同 アジア研究・対アジア関係に関する分科会 (第2回) (4月24日)

①前期提言に関する現況報告

②今期の活動方針（前期「提言」の実現に向けた具体的な活動計画、新たな「提言」策定等に関して）

③その他

（2）心理学・教育学委員会 脳と意識分科会（第2回）（4月25日）

①23期の活動について ②合同シンポジウムについて

③脳と意識についての話題提供 上田完次委員

④学術の大型研究計画「融合社会脳研究センター構想」について ⑤その他

（3）法学委員会 ジェンダー法分科会（第1回）（4月27日）

①委員長の選出、副委員長・幹事の決定 ②今期の審議課題について ③その他

（4）地域研究委員会 地域情報分科会（第2回）（4月28日）

①話題提供（柴崎教授）

②人文・経済地理学分科会との共同主催（案）のシンポについて

③地域の知小委員会について ④今後の活動方針について ⑤その他

（5）心理学・教育学委員会 公正原理を重視する公教育システムの再構築分科会（第2回）（5月1日）

①報告 宮寺晃夫委員・藤田英典委員 ②その他

（6）哲学委員会 哲学分野の参照基準検討分科会（第5回）（5月3日）

①参照基準原案の検討 ②今後の進め方 ③その他

（7）社会学委員会 社会変動と若者問題分科会（第3回）（5月8日）

①「若者の地域移動」研究に関するヒアリング

・林玲子氏（国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長）

・西野淑美氏（東洋大学社会学部准教授）

②シンポジウムについて ③その他

（8）社会学委員会 複合領域ジェンダー分科会（第1回）（5月11日）

①役員の選出 ②今後の方向性について ③その他

（9）社会学委員会 ジェンダー研究分科会（第1回）（5月11日）

①役員の選出 ②今後の方向性について ③その他

（10）社会学委員会・経済学委員会合同 包摂的社会政策に関する多角的検討分

科会（第3回）（5月16日）

- ①提言等の進捗状況の報告
 - A) 子どもの貧困
 - B) 高齢者の権利
 - C) 女性
 - D) 社会的包摂概念の精緻化
- ②次回の委員会の日程調整 ③その他

(11) 心理学・教育学委員会 心理学教育プログラム検討分科会（第2回）（5月16日）

- ①心理学教育の実態調査（楠見委員の報告）に基づく教養教育と専門教育の方向性
- ②国際バカロレアと関連づけた高校における心理学プログラムの在り方
- ③心理学の国家資格化の動向について ④その他

(12) 心理学・教育学委員会 社会のための心理学分科会（第2回）（5月16日）

- ①「心理学教育の実態調査」調査結果報告（日心教育研究委員会調査小委員会）
- ②今期の活動内容について ③その他

(13) 地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 地球環境変化の人的側面（IHDP）分科会（第2回）（5月18日）

- ①幹事の補充 ②フューチャー・アースへの対応
- ③小委員会の設置及び特任連携会員の推薦
- ④日本地球惑星科学連合 IHDPセッションについて ⑤その他

(14) 法学委員会 社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会（第2回）（5月18日）

- ①委員報告
 - 長 志珠絵委員「同性愛射程から考える日本近現代史研究（仮）」
- ②ゲスト報告
 - 戒能 民江委員による紹介（10分）
 - 報告（i）原 ミナ汰氏 NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク（共生ネット）代表理事
「広域相談から視えるLGBTIの社会的孤立と権利保障の課題」
 - 報告（ii）廣瀬 麻弥氏 一般社団法人社会的包摂サポートセンター広報担当
「均等法改正と職場におけるLGBTIの権利保障」（仮）
- ③9月19日シンポジウム開催について（日本ジェンダー学会と共同で主催）

④その他

(15) 法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会 (第2回) (5月18日)

①報告 (各30分程度)

(i) 小林傳司

「大学院における教養教育としての高度教養教育という考え方」

(ii) 三成賢次

「わが国における法学部教育—近年の大学教育改革をめぐって」

(iii) 小澤隆一

「医療系単科大学における法学・社会科学教育のとりくみ」

②全体討議 ③次回会議について ④その他

第二部担当

(1) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同 自然史・古生物学分科会 (第1回) (4月24日)

①第23期分科会役員選出 ②第22期からの引継事項確認

③分科会関連の話題紹介 ④今期活動計画 ⑤その他

(2) 食料科学委員会 水産学分科会 (第3回) (4月24日)

①参考人からの報告 ②福島での現地調査と市民フォーラムについて

③農学分野の参照基準検について

④地球温暖化時代における持続可能な水産業のあり方

⑤エコラベルについて ⑥その他

(3) 農学委員会・食料科学委員会合同 遺伝子組換え作物分科会 (第2回) (4月27日)

①NPBT、特に、ゲノム編集に関わる技術的、社会科学的課題について

参考人 大澤良 筑波大学教授：主に、技術的課題について

石井哲也 北海道大学特任准教授：主に、社会科学的視点から

②今後の検討方針について ③その他

(4) 農学委員会・食料科学委員会合同 PSA分科会 (第2回) (4月28日)

①委員長の交代並びに委員長、副委員長、幹事の選出

②畑井新喜メダルの取り扱いについて③特任連携会員の推薦について

④その他

(5) 食料科学委員会 畜産学分科会 (第2回) (5月1日)

- ①報告事項 ②対外報告 ③役割分担 ④公開講演会・シンポジウム
- ⑤日本畜産学アカデミーの運営 ⑥その他

(6) 基礎生物学委員会 IUBS分科会 (第1回) (5月7日)

- ①役員を選考 ②今後の活動方針 ③その他

(7) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会 (第3回) (5月14日)

- ①国立自然史博物館設立に向けた活動
 - ・最近の展開についての報告
 - ・今後の方針
- ②その他

(8) 農学委員会・食料科学委員会合同 CIGR分科会 (第2回) (5月15日)

- ①第20回 World Congress(2022年)招致について ②CIGR事務局について
- ③Plant Factory WGについて ④その他

(9) 臨床医学委員会 移植・再生医療分科会 (第1回) (5月18日)

- ①役員(委員長、副委員長、幹事)の選出
- ②移植・再生医療における取り組みについて
- ③その他

(10) 臨床医学委員会 循環器・内分泌・代謝分科会 (第1回) (5月18日)

- ①役員(委員長、副委員長、幹事)の選出 ②今後の活動方針について
- ③その他

(11) 薬学委員会 化学・物理系薬学分科会 (第2回) (5月20日)

- ①総会および第二部会(4月9日、10日開催)での議論内容について
- ②薬学委員会 化学・物理系薬学分科会の第23期(今期)の活動について
- ③その他

(12) 健康・生活科学委員会 家政学分科会 (第3回) (5月20日)

- ①家庭科および家庭科教員養成について
- ②平成27年度生活科学系コンソーシアムの活動について ③その他

(13) **農学委員会 農学分科会** (第2回) (5月22日)

- ①日本学術会議農学委員会農学分科会・全国大学付属農場協議会主催シンポジウムV「農学教育の現状と大学付属農場等の果たすべき役割」について
- ②分科会の今後の活動について ③その他

第三部担当

(1) **環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会 低炭素・健康社会都市小委員会** (第1回) (4月27日)

- ①委員長、幹事の決定 ②今後の活動予定 ③その他

(2) **環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会** (第2回) (4月27日)

- ①第1回議論にみる提言のためのキーワード
- ②20期「対外報告」の内容とその後の動向
- ③「省エネ小委員会中間報告ポイント」の確認
- ④21, 22期「記録」の概要を踏まえた提言の方向
- ⑤各委員からの論点メモ ⑥次回の予定

(3) **健康・生活科学委員会・環境学委員会合同 環境リスク分科会** (第2回) (4月27日)

- ①学術会議のこれまでの提言等の状況
- ②教科書における放射線リスクの記述について
- ③食品安全等を例とするリスク評価の取り組み
- ④環境リスク(疾病負荷)に関する海外の検討例
- ⑤資料、今後の進め方に関するご意見等

(4) **電気電子工学委員会 通信・電子システム分科会** (第2回) (4月30日)

- ①総会・第三部会・電気電子工学委員会の報告
- ②アンケート結果に基づく第23期分科会活動計画について ③その他

(5) **総合工学委員会 工学基盤における知の統合分科会** (第1回) (5月7日)

- ①第23期分科会設置の経緯と趣旨説明 ②役員を選出
- ③第22期の活動のまとめ ④第23期の活動方針について
- ⑤小委員会の設置について ⑥その他

(6) 総合工学委員会・材料工学委員会合同 持続可能なグローバル資源利活用に係る検討分科会 (第1回) (5月7日)

- ① 役員の選出
- ② 持続可能なグローバル資源利活用に係る検討分科会の活動方針について
- ③ その他

(7) 環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 (第3回) (5月8日)

- ① 前期分科会の作成した資料 (第1回配布資料4) の「提言」化に向けて
- ② 今期の新しい提言—環境という視点からの教育—について
- ③ その他

(8) 数理学委員会 数学教育分科会 (第3回) (5月8日)

- ① 特任連携会員の紹介
- ② 統計教育の振興について
- ③ 教育課程の改訂について
- ④ その他

(9) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 高額システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 (第2回) (5月11日)

- ① 小委員会活動の報告
 - ・ 安全目標小委員会
 - ・ 車の自動運転検討小委員会
 - ・ 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会
- ② 話題提供「化学物質分野における安全目標」
産業技術総合研究所安全科学研究部門・主任研究員 小野恭子氏
- ③ リスク学会主催「安全目標」シンポジウムについて
- ④ 安全工学シンポジウム2015
- ⑤ その他

(10) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会安全目標の検討小委員会 (第1回) (5月11日)

- ① 安全目標の検討小委員会設置の経緯と役員の選出
- ② 昨年度までの経緯と今期の活動方針
- ③ 安全工学シンポジウム等、各シンポジウムへの対応
- ④ 今後の予定
- ⑤ その他

(11) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第1回) (5月14日)

- ① 委員長他、役員の選出
- ② 活動方針に関して
- ③ その他

(12) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 I F A C分科会 (第1回) (5

月15日)

- ①参加者自己紹介 ②経緯説明 ③本分科会役員の選出 ④分科会活動計画
- ⑤その他

(13) **物理学委員会 IAU分科会 (第2回)、物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会 (第2回) 合同分科会 (5月18日)**

○IAU 分科会

- ①IAU 新会員の推薦 ②ホノルル総会へ向けて ③国際光年2015について
- ④その他

○天文学・宇宙物理学分科会

- ①「大学教育の質保障のための参照基準」天文学分野の策定状況について
- ②今後の計算機化学の展開 ③光赤外の状況 ④学術予算の動向
- ⑤今後の大型計画・中型計画の検討の方向について ⑥主要機関の現状報告

(14) **地球惑星科学委員会 IGU分科会 (第1回) (5月18日)**

- ①IGUの動静 ②IGU2015年モスクワ会議およびIGU2016年北京会議
- ③地理オリンピック ④地名研究のIGUでの意義(オブザーバー 田辺先生)
- ⑤IYGUについて ⑥ICA小委員会報告、IAG小委員会報告 ⑦その他

(15) **総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 計算力学小委員会 (第2回) (5月19日)**

①学術会議最近の話題

- ・計算科学シミュレーションの参照基準
- ・計算科学シミュレーションの大型設備
- ・日本の展望—2015

②第5回計算力学シンポジウムについて ③その他

(16) **化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会 (第2回) (5月20日)**

①今期の分科会活動の進め方について

話題提供：藤田 照典(三井化学)

前 一廣(京都大学) 参考人招聘

②シンポジウムの企画について ③大型研究計画について ④その他

(17) **数理科学委員会 統計学分野の参照基準検討分科会 (第4回) (5月21日)**

- ①統計学分野の参照基準案の検討 ②公開シンポジウムのプログラムについて

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) オープンサイエンスの取組に関する検討委員会 (第2回) (5月21日)

①先例紹介

- ・ライフサイエンスにおけるデータ共有の現状と課題
- ・材料分野におけるオープンサイエンスについて

②その他

6 若手アカデミーの開催とその議題

なし

7 サイエンスカフェの開催

日 時：5月15日 (金) 18:30～20:30

場 所：サロン・ド・FUZAMBO Folio

テーマ：「元素の魅力ーその誕生から最先端科学技術の主役まで」

ゲスト：櫻井 博儀 (日本学術会議連携会員、理化学研究所仁科加速器センター主任研究員)

玉尾 皓平 (日本学術会議連携会員、理化学研究所研究顧問グローバル研究クラスター長)

コーディネーター：室伏 きみ子 (日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学長)

8 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

5月14日 第8回基本計画専門調査会 出席

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

5月 7日 出席

5月14日 出席

5月21日 出席

9 慶弔

・ご逝去

田中 則夫（たなか のりお） 平成26年11月12日 享年65歳
連携会員（第22～23期） 龍谷大学法科大学院教授

天野 正子（あまの まさこ） 平成27年5月1日 享年77歳
元連携会員（第20～21期） お茶の水女子大学名誉教授

松下 圭一（まつした けいいち） 平成27年5月6日 享年85歳
元会員（第13期） 法政大学名誉教授

松尾 稔（まつお みのる） 平成27年5月9日 享年78歳
元会員（第15～17期） 元名古屋大学総長

塚田 裕三（つかだ やすぞう） 平成27年5月14日 享年92歳
元会員（第9, 11～12期）、元会長（第12期）

10 インパクト・レポート

提言「物性物理学・一般物理学の学術研究のさらなる振興のために」 インパクト・レポート

1 提言内容

(1) 基盤的経費と競争的経費のデュアルサポートの充実

競争原理によって研究教育活動を活性化する施策と、研究教育人材の質と量を長期的安定性で確保する基盤整備の施策との間に、適正なバランスがとれた予算配分を国が行うべきである。一方で、当該分野の研究者は、物理学を社会につなぐインターフェースとしての役割を果たし、社会への寄与を発信する努力をさらに強化する必要がある。

(2) 法人枠を超えた全国的規模の連携研究の振興

大学法人等が共同利用研究所の役割の明確化の努力を続ける必要がある。更に、法人の枠組みを超えた共同研究・連携研究を促進する新しい企画を奨励し、それを実施しうる仕組みを国が構築することが求められる。

(3) 若手研究者の職の不安定化問題の解決

学術研究基盤を支える若手研究者人材育成のために、雇用環境の集中的な状

況分析と問題解決のための施策が求められる。

2 提言の年月日

平成26年5月7日

3 社会的インパクト

(1) 政策

・特になし。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

- ・平成26年3月開催の日本物理学会年会のインフォーマルミーティング(IFM)において、提言内容を委員長が紹介。また、同学会の拡大物性委員会 IFMでも委員長が紹介した。その結果、5月28日に開催された KEK 物質構造科学研究所特別シンポジウムでも提言内容について講演することとなった。関係研究教育機関の関心は高いことがわかった。
- ・平成27年2月に学術会議から発せられた「第5期科学技術基本計画のあり方に関する提言」では、物性物理学・一般物理学分科会から表出した本提言の内容がほぼ含まれる形になっている。この提言の内容が、当該分野だけでなく広い分野で共有されるものであることがわかった。

4 メディア

・特になし

5 考察と自己点検

本提言を直接、政策担当者に手交することはしなかったため、政策への影響どの程度あるかは不明である。しかしながら、この提言の後、出された「第5期科学技術基本計画のあり方に関する提言」に、本提言とほとんど同じ内容が含まれており、学術関係者の声として政策担当者に届いているものと思われる。

物理学会や物性物理学研究者コミュニティー内での反響は、それなりに大きかった。今後のフォローアップが更に重要である。

インパクト・レポート作成責任者
第22期物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会委員長
田島 節子

提言「我が国の学術基盤の在り方について
-SINETの持続的整備に向けて-インパクト・レポート

1 提言内容

学術情報基盤は大学等の教育研究およびその支援業務のすべてに関わり、あらゆる学問分野に必須のものとしての重要性があることから、中期的計画に基づく持続的な整備が必要として、以下の各項を提言した。

- ・ 学術情報基盤の持続的な運営経費の確保
- ・ 世界最高水準の国内ネットワークの実現
- ・ 国際ネットワークの強化
- ・ クラウド基盤の整備
- ・ セキュリティ機能の確保
- ・ 学術情報の活用基盤の高度化

2 提言の年月日

平成26年5月9日

3 社会的インパクト

(3) 政策

- ・ 科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会において、『教育研究の革新的な機能強化とイノベーション創出のための学術情報基盤整備についてークラウド時代の学術情報ネットワークの在り方ー』がまとめられた（平成26年8月26日）が、その際の重要な指針としての役割を果たした。
- ・ 研究環境基盤部会学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会において、『大型研究計画に関する評価について（報告）「新しいステージに向けた学術情報ネットワーク（SINET）」』がまとめられた（平成26年9月24日）が、その際の重要な参考資料として活用された。
- ・ 平成27年度国立大学運営費交付金予算等の概要（平成27年1月15日）の中で、予算確保に最大限努力した主なもの5つの1つとして、『学術情報ネットワーク（SINET）の高度化・高速化（40Gbps→100Gbps）に向けて所要額を確保。[SINET5への移行]』が提示された。

(4) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

- ・ 国立大学協会（会長：松本紘）、公立大学協会（会長：木苗直秀）、日本私立大学団体連合会（会長：清家篤）の3団体連名で、文部科学大臣宛てに要望

書『SINETの強化と安定運用に必要な予算の確保について(要望)』が提出された(平成26年7月24日)。

- ・ 上述の要望は、公明党文部科学部会(部会長:山本香苗)の賛同を得られ、公明党Webニュースに『学術通信網の強化を』という記事(平成26年7月25日)が掲載され、その後、文部科学大臣宛の重点政策要望の一つに盛り込まれた(平成26年7月31日)。

4 メディア 特になし。

5 考察と自己点検

本提言は、我が国の学術情報基盤の在り方に関して、海外動向を踏まえて幅広い視野をもってまとめられており、文部科学省におけるSINETの審議・評価委員会において、重要な参考資料として活用され、また、国公私立大学からの大きな賛同を産むものとなった。この結果、次期SINETへの移行に関しては、学術界全体ならびに文部科学省の同意が得られ、平成27年度の大幅な予算増につながるなど大きな成果を挙げたと言える。ただし、平成28年度以降の学術情報基盤の安定運用に向けた予算の確保に関しては、極めて厳しい状況が続いており、引き続きその動向に注視し、引き続き本提言の意義を訴えていく必要があると考える。

インパクト・レポート作成責任者

第22期情報学委員会委員長 西尾 章治郎

提言「男女共同参画社会の形成に向けた民法改正」インパクト・レポート

1. 提言の内容

男女共同参画社会形成を促進すべく、下記の3点についての民法改正を提言した。

- ① 婚姻適齢の男女平等化
- ② 再婚禁止期間の短縮ないし廃止
- ③ 選択的夫婦別氏制度の導入

2. 提言の年月日

平成26年6月23日

3. 社会的インパクト

- ① 法務省民事局担当者に「提言」の説明を行い、法改正に向けた検討の必要性の理解を求めた。
- ② 衆議院及び参議院の法務委員会委員を中心に各党派の国会議員へ「提言」の説明を行い、法改正の要請を行った。いくつかの政党では政策課題として民法改正を位置付けており、複数の議員から「提言」の参考資料としての有益性の指摘があった。
- ③ 関連学会である、ジェンダー法学会及び日本女性学会からの「提言」に対する賛同を得た。

4. メディア

記者発表に複数の報道機関が参加し、NHKTV ニュース等で報道された。

5. 考察と自己点検

学会への働きかけについては十分ではないところもあったが、学術会議が提言を出したことの立法・司法機関への影響は少なからずあったと考える。

とりわけ、最高裁は 2015 年 2 月 18 日に、選択的夫婦別姓及び再婚禁止期間をめぐる二つの国家賠償請求訴訟の上告審を大法廷に回付し、最高裁が憲法判断を行う可能性が出てきたところであり、「提言」は時宜を得たものとなったと評価している。

インパクト・レポート作成責任者

第 22 期法学委員会ジェンダー法分科会副委員長 戒能 民江